

「止まってくれない！栃木県からの脱却」への取り組みについて

1. 概要

信号機のない横断歩道で歩行者が横断しようとした際に、停止した割合が、昨年、J A Fの調査で栃木県は全国ワースト1位という結果であった。このため本市では、職員への交通ルールの遵守の徹底、交通安全マナー向上啓発活動に市長も参加し市民に周知を行うなどの取り組みを行ってきた。

今般、これらの取り組みが評価され、本市が県内初となる「止まってくれない栃木県」からの脱却モデル事業所として、7月24日（水）に栃木警察署長、安全運転管理者栃木地区協議会長より委嘱を受けた。

2. 事業内容

市職員が市民の模範となり、市民への周知をし、栃木市から「止まってくれない！栃木県」からの脱却に向けた取組を展開する。

- 栃木県警察などが制作した啓発動画を職員に視聴させ、再度、交通ルール遵守の徹底を図るとともに、横断歩道での歩行者優先を意識するように、缶バッジを作成し、職員が身に付ける。
- 委嘱の際に寄贈されたマグネットステッカーを公用車に貼り、職員が横断歩道での歩行者優先を率先して取り組む。
- 市のホームページなどを活用して、啓発動画の掲載を行う等、交通安全意識の向上に努める。

3. 今後の取り組み

- ステッカー（裏面）を作成し、9月28日開催の交通安全市民大会の際に市民へ配布し、交通安全マナー向上の啓発を行う。
- 「止まってくれない！栃木県」からの脱却モデル事業所として、庁内の窓口に卓上型のぼり旗を設置し、交通安全意識の醸成を図る。
- 市長と市職員が街頭啓発活動を実施し、「横断歩道での歩行者保護意識の向上」とあわせて、「歩行者も横断歩道を横断する時は、意思表示をすることが大切」と伝え、市の取り組みが市民全体にも広がるよう呼びかけていく。



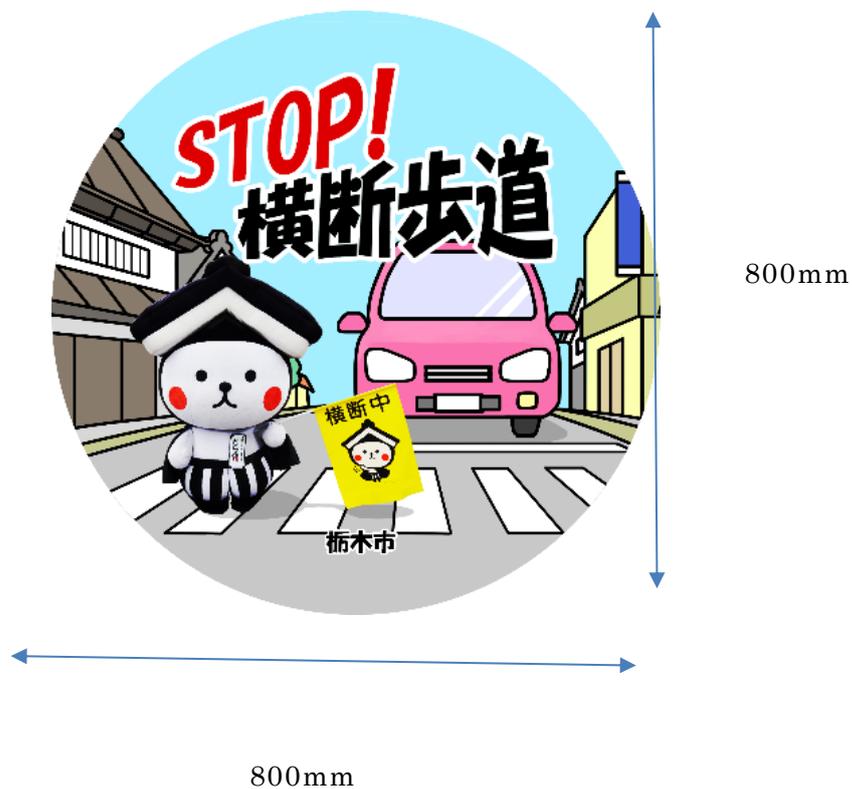
（左から吉田 県警交通部総括参事官 池田署長 川島会長）



（寄贈されたマグネットステッカー）

【問合せ】生活環境部 交通防犯課 担当：飯島・毛塚 電話：0282-21-2151

ステッカーデザイン(案)



【問合せ】

生活環境部 交通防犯課

担当：飯島、毛塚

電話：0282-21-2151